

陸前高田発

力士の描いた「一本松」



幼いころから絵画が趣味というベテランの大相撲力士が、東日本大震災からの復興を願い描いた「奇跡の一本松」の油絵が、陸前高田市役所の展示スペースに展示されています。深い青を基調とした空を背景に、月明かりで浮かび上がる一本松とそれを寄り添って見つめる

男女。たて90センチ、よこ65センチの油絵を描いたのは青森県弘前市出身で田子ノ浦部屋に所属する十両の若の里関です。若の里関は今年6月に合宿先の奈良県葛城市で、陸前高田市に派遣された市職員が撮影した「奇跡の一本松」の写真を見て心を打たれ、写真をもとに被災地の一日も早い復興を願いながら7月の名古屋場所中に描きあげたということです。若の里関の描いた「奇跡の一本松」は12月26日まで展示されています。

(12/4 ニュースエコー)

山田発

復興工事現場の見学会

復興道路として整備が進む三陸沿岸道路のトンネル工事現場を山田町の豊間根小学校の児童が見学しました。山田・宮古間に整備される「山田第2トンネル」の建設現場では高学年の54人が見学しました。児童は道路が完成すれば町内から県立宮古病院までの時間が半分となることや、通常10年かかる工事を急ピッチで進め、3年で完成させることなどを学びました。トンネル内では掘削の方法をスクリーンで鑑賞したほか、壁にコンクリートを吹き付ける作業車をリモコンで動かす体験もしました。そして児童はトンネル内部に永久に残ることになる防水シートにそれぞれ名前やイラストを書き込みました。約14キロの山田宮古道路は3年後に開通する予定です。



(12/4 ニュースエコー)



釜石発

「タウンポート大町」オープン



東北の被災3県では初めてのケースとなるグループ補助金を活用した商店街型の共同店舗『タウンポート大町』が、釜石の中心部にオープンしました。タウンポート大町は、商店や飲食店が入る本設の共同店舗です。9店舗のうち8店舗は津波で被災し、これまでは仮設店舗や釜石以外で営業していました。今後、共同店舗の周辺には情報交流センターや、新たな市民文化会館などが建設予定で、釜石の中心市街地の再生に向けまちづくりが進められます。(12/5 ニュースエコー)

釜石の中心部にオープンしました。タウンポート大町は、商店や飲食店が入る本設の共同店舗です。9店舗のうち8店舗は津波で被災し、これまでは仮設店舗や釜石以外で営業していました。今後、共同店舗の周辺には情報交流センターや、新たな市民文化会館などが建設予定で、釜石の中心市街地の再生に向けまちづくりが進められます。(12/5 ニュースエコー)



大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は大船渡「FMねまらいん」の田村華恵さんが、三陸鉄道南リアス線の貸切列車について伝えてくれました。まずは「復興歌声列車」。カラオケを歌いながら往復2時間の旅を楽しむもので、月1回のペースで運行されています。この他12月14日に運行される「三陸駅弁列車」は、ウニの炊き込みご飯やホタテ・アワビが入った豪華駅弁が出されます。そして12月25日と26日はサンタさんが乗車し、参加者にプレゼントを配る「クリスマス列車」も走ります。田村さんは、「様々な貸切り列車があるので、三陸鉄道に問い合わせみてください。」と話していました。(12/10)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122